

HOMMAGE to Kenji Miyazawa



HAPPY TOCO with ささきたかお



“ジャズ 夏のはなしです”

宮沢賢治が会った洋楽はやり歌

宮沢賢治の詩のタイトルにジャズという言葉が出てきます。

賢治がどんな音楽を聴いていたか、その幅広いジャンルの音楽との出会いをお楽しみください。

ささきたかお

2018. **8.26** sun
13:30 play 13:00 open

at Jazz Me Blues noLa

illustrated by Taku Furuyama



HAPPY TOCO with ささきたかお

“ジャズ 夏のはなしです”

宮沢賢治はクラシックに造詣が深かったことは知られていますが、実はクラシック以外にも、ジャズ、ポップスやタンゴなど幅広いジャンルの音楽を聴いていた、豊かな感性の持ち主です。「セロ弾きのゴーシュ」や「ポラーノの広場」など賢治の童話や詩に登場する曲や、賢治が出会った曲の元歌を、演奏と、その曲にまつわるお話でご紹介します。

Profile

HAPPY TOCO (演奏)



ピアノ・榊原光裕、ヴァイオリン・佐藤聡子、ドラムス・岸川雅裕をレギュラーメンバーとするインストゥルメンタル・ユニット。仙台を拠点として東北各地や東京などで、さまざまなテーマでライブを重ね、つねにオリジナル・アレンジを発表している。フィンランドからエジプトまで、世界の多種多様な音楽を取りあげ、Happy Tocoならではのサウンドに仕上げ、よい音楽とよい時間をみなさまにお届けするユニットでありたいと日々活動を展開中。

ささきたかお (おはなし)



音楽レーベル「Paradise Valley Private Records」主宰。米国のルーツミュージックをテーマに、貴重なSP盤音源を集めた「いずみや宝物館・蔵出し」シリーズ全10枚を制作・順次発売中。同レーベルから2017年8月、「ジャズ 夏のはなしです～宮沢賢治が出会った洋楽はやり歌 ジャズ～」2018年3月、「心象スケッチ 春と修羅 ～宮沢賢治が聴いたクラシック～」をリリース。

会場 Jazz Me Blues noLa 仙台市青葉区錦町1-5-1 tel:022-398-6088